

校報ねどる

岩出市立根来小学校
学校だより No.19
令和4年1月7日
文責：柏木



あけましておめでとうございます

約2週間の冬休みも終わり、今日から3学期が始まりました。この冬休み期間、どのように過ごされましたか。冬休みが始まると同時に、「数年に1度の強い寒気」が流れ込み、各地で大雪の情報が映し出されていました。温暖な和歌山ではありますが、雪がちらほら（山間部ではかなりの積雪がありました）降っていました。年始は、年末の北西季節風が収まり、比較的穏やかな日が続きました。特に太陽が出ていた日中は、とても気持ちのよい気候でした。

3学期は、3月までの短い期間ですが、1年間のまとめをする大切な時期でもあります。今までの学びをしっかりと振り返り・確認しながら、新しい学年に向けて準備もしていきましょう。

これから本格的な寒さが訪れます。体調管理に気をつけて、元気に過ごせるようにしましょう。

『チャレンジしての失敗を恐れるな。何もしないことを恐れろ。失敗が人間を成長させると私は考えている。失敗のない人なんて本当は気の毒に思う。困らなきゃ何もできない。自分の力の足りなさを自覚し、知恵や力を貸してくれる他人の存在を知るのもいい経験である。』

この言葉は、一代でオートバイはもとより、自動車でも世界のブランドに育て上げた本田宗一郎さんの言葉です。この言葉は、「失敗すること自体は恐れる必要はない。むしろ、チャレンジも何もしないことを恐れなければならない。」という意味です。

やらなければならないのは、チャレンジすること、具体的に何かを考えて行動に移すこと。たとえ失敗したとしても、「この方法では上手く行かない」ことがわかった。だから、次は逆のことをすれば上手くいく可能性が高くなる。また失敗しても、今度は「このようにしてみたら」とチャレンジしていく。ここで、失敗を恐れてチャレンジしなければ、何も得ることはできない。つまり、発見や進歩がない。

チャレンジする人は、上手く行けば成功。失敗したとしても、失敗から学び、次のステージに進むことができます。そして、新たなチャレンジ意欲がわいてきます。自分は何もしないのに、人の失敗をあざ笑うようなことを続けると、気がつけばあっという間に周りとの差が広がってきます。

本校の学校教育目標は、「なりたい自分になるために、学び挑戦し続ける人の育成—あい（結びあい、学びあい、支えあい、高めあい）のある学校—」です。なりたい自分の姿をイメージして、その姿（ゴール）に向け、必要な知識や経験を学んでいくこと、そして、何度も挑戦していくことの大切さを掲げています。

また、具体的には「あい」のある学校にしたいと思っています。本田宗一郎さんの言葉にもあるように、「知恵や力を貸してくれる他人の存在」つまり、多くの人との繋がりがりや支え、結びあいが大切となります。

令和4年（2022年）も、根来小学校の子どもたちやご家族、地域の人、教職員、全ての人が一つでもなりたい自分に近づけるよう願っています。

今日、1月7日に「七草がゆ」を食べる習慣は、江戸時代に広まったそうです。

七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれました。そこで、無病息災を祈って七草がゆを食べたのです。古くはまな板の上で、草をトントン叩いて刻むその回数も決められていたとか。こんな、おまじないのような食べ方もすてきですが、実はこの七草がゆ、とても料理にかなった習慣です。

七草はいわば日本のハーブ、そのハーブを胃腸に負担がかからないおかゆで食べようというのですから、正月疲れが出はじめた胃腸の回復にはちょうどよい食べ物です。また、あっさり仕上げたおかゆは、少し濃い味のおせち料理が続いたあとで、とても新鮮な味わいです。

【春の七草】



セリ



ナズナ



ゴギョウ



ハコベラ



ホトケノザ



スズナ



スズシロ

新型コロナウイルス感染予防【咳エチケットと手洗い】をお願いします

新型コロナウイルス感染症は、一人一人の咳エチケットや手洗い、マスク着用などの実施がとても重要です。学校では、原則マスクの常時着用（給食や体育、リコーダー等一部除く）します。予備のマスクも含め、毎日忘れずにきちんと着用しましょう。手洗いについては、水が冷たくなる時期でもありますが、頻回で実施するようにしましょう。

風邪症状があれば、登校を控えていただき、医療機関での受診をお願いします。登校後の場合は、お迎えをお願いすることがありますので、よろしくお願いします。